

令和3年4月22日 00531号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp



ニュースレター【事務局情報】

野生の営み②大正時代末期、道東の釧路湿原で十数羽が再発見されました。

昭和時代、数羽のタンチョウが畑に置かれた冬の保存用トウモロコシを食べているのが見られ、鶴居村では冬期餌付けが始まり、昭和27年に特別天然記念物に指定、保護施策が始まり、昭和60年に日本野鳥の会は、野生のツルを絶滅から守る生息環境を確保し、人間との共存を確立させるための、ツル保護特別委員会を

発足。ツルに関わる人々が知恵を出し合い、「鶴居村サンクチュアリ基本構想」が策定されました。(堅一) ※写真説明:1月下旬、伴侶を前に踊るダンスの練習をしている。まるで鶴の舞の様な一瞬を切り取ることに成功した。

空手道連盟の審判講習会が開催!

4月18日(日)北見空手道連盟の「審判講習会」が北見市武道館で行われました。受講者は形の実技を前にして、真剣なまなざしで講習を受けていました。(佐藤)



武道振興協会事務所の花シリーズ「カタクリ」

ユリ科カタクリ属で、山野、山地の林の下葉丈10~15cm前後にやや広めの葉が2枚に茶系のマダラ模様が入ります。花は濃厚ピンクのそりかえり6弁ぐらいに咲きます。花期は4~5月 北見市端野町では自然のままに生えて大切に管理され5月初め頃に観賞会が行われています。(渋谷)

連載 武道宝鑑全剣道『形』の真髓 東京高等師範学校助教授 佐藤卯吉④

さて其の刀法研究の対象となるものは要するに、

- 一、敵の種類
 - 一、敵の動作の変化
 - 一、敵の数の多少
 - 一、敵の武器の種類しゅるい
 - 一、明暗の度めいあん
 - 一、地形の難易なんい
- 大体右に列挙した事情の下に、刀剣の使用法も使用者の態度も異ならなければならぬ。しかしながら大体標準となる可き刀剣使用法の規範きほんを選定し、其の規範を充分研究練習し、これに習熟して置けば、実践に際しては敵の技量てきをはかり、前に述べた諸条件を考慮し既に習熟したところを大いに発揮すれば良いわけである。・・・つづく